

第21回 埼玉心理リハビリテーション研究会ミニキャンプ

1. 期 間 令和7年8月2日(土)～3日(日) 2日間
1日目 8:30～20:00 [トレーニー 13:00～17:00]
2日目 8:45～17:00 [トレーニー 10:10～16:30]
2. 場 所 埼玉県民活動総合センター
第3会議室、第4会議室、第5会議室(宿泊棟4F)
3. 総合指導 飯嶋 正博(元順天堂大学先任准教授)
4. テー マ 「不器用な子どもの動きづくり」
5. SV(班長) 飯嶋 正博(元順天堂大学先任准教授)、島村 隆博(動作法心理相談みやしろ)
菅原 恵(岩槻はるかぜ特別支援学校教員)
6. トレーニー A(10歳・女子) B(6歳・女子) C(9歳・男子) D(13歳・女子)
E(6歳・男子) F(9歳・男子) G(10歳・男子) H(5歳・男子)
I(10歳・男子) J(9歳・男子) K(6歳・男子) L(9歳・男子)
M(6歳・女子) 計13名
7. トレーナー 宮代特別支援学校教員6名 岩槻はるかぜ特別支援学校教員5名
越谷特別支援学校教員2名 久喜特別支援学校教員1名
千葉県立松戸特別支援学校教員1名

計15名(サブトレーナー含む)



8. キャンプの概要

(1) 公開研修会(講義)

今回、総合指導をしていただいた飯嶋先生は、「不器用な子どもの動きづくり」というタイトルの本を2冊執筆されていて、今回は同内容のテーマでご講義いただいた。講義には、ミニキャンプの参加者以外にも9名の参加者があり、県内の特別支援学校教員をはじめ、東京で学校カウンセラーをしている方などの参加もあり、とても盛況であった。講義の内容としては、不器用とはどのようなことなのかといったことから始まり、具体的にはどのようなかわりをすればよいのか、どのように指導すればよいのかといった具体的な話までしていただいた。動作法の基本的な話もしていただいた上で、三つの構え(気構え、心構え、身構え)が揃わないと実際の行動は空回りするといったことや、やらない子へは Yes-No の2択ではなく、Yes1-Yes2 の2択を提示する

とよいといったような実際の指導に役立つような話を数多くしていただいた。

(2) 動作法

今回の参加トレーニーは、5～13歳までの知的障害児で、動作法の訓練会等の参加が初めてという児童が多いということもあり、いつもの埼玉心理リハ月例会とは様子が異なるミニキャンプとなった。会場のいたるところから大きな声が聞こえ、会場を動き回るトレーニー、廊下に走り出すトレーニーと元気いっぱいといった感じだった。肢体不自由特別支援学校に勤務するトレーナーも多く、はじめは戸惑っている様子も見られたが、5回の動作法でのやりとりを通じて、お互いのことが分かってくいき、信頼関係を築いていく中で、落ち着いて会場にいられるようになったり、マットの上で各課題動作に取り組めるようになったりとそれぞれが変容していく様子が見られた。埼玉心理リハでは、動作法を実施した後に必ず班別ミーティングを行い、動作法の振り返りをし、その後どのように取り組んでいくかをSV(班長)とトレーナーが確認しながら動作法を進めていけるようにしている。トレーナーの中には動作法の訓練会等に参加するのが初めてという方もいたので、この進め方が有効であったようだ。初めて動作法を行うというトレーニー、トレーナーが多いということもあってか、5回だけの動作法の実施ではあったが、トレーニー、トレーナーともにそれぞれが確実に変容していた。トレーニーでは、集中して動作法に取り組めるようになったり、落ち着いてマットの上で活動できるようになったり、トレーナーに身体をゆだねられるようになったり、正座ができるようになったり、歩行の改善が図れたりと多くの変容が見られた。トレーナーにおいても、トレーニーとのかかわり方が変わったり、自信をもった表情で動作法の取り組みを行えるようになったり、トレーニーに適切な援助ができるようになったりと成長が見られた。

(3) 研修

今回は、飯嶋先生からの提案もあり、トレーニー、保護者、トレーナーの全員が参加する全体研修を2回行った。埼玉心理リハとしては、初めての試みではあったが、保護者も動作法を知る機会となったし、トレーニーにも気持ちを切り替えるよいタイミングになったようで、とても好評であった。トレーナーの実技研修としては、腰の緩めや足首の緩め等を行った。腰の緩めは、正座で上体を前屈し腰を左右に重心移動することで、腰を起こしやすくなったり、開脚がしやすくなったりとの体験をした。足首の緩めは、底屈や背屈だけでなく、内反や外反、内旋や外旋への緩め、足甲の指間の緩めを行うことで、踏みしめる感じが変わる体験をした。研修を受けた参加者はその体験に皆驚いた表情で、その後の動作法でトレーニーに実践しその効果を確認していた。

(4) まとめ

今回は2日間ということで、スケジュール的にはかなり厳しいものであり、さらにサブトレーナーがほぼいないといった体制的にも厳しいミニキャンプであった。初めて参加するトレーニーやトレーナーが多い中、経験のあるトレーナーが主体的に行動してくれたことでミニキャンプの運営はスムーズに行え、班別研修や実技研修でも積極的な発言が見られ、参加者それぞれにとって意義のあるミニキャンプになったように感じる。また、飯嶋先生には、総合指導でありながらSV(班長)も行ってもらおうといった変則的な体制でご負担をかけてしまったが、全員参加の全体研修などを提案してもらおうなど協力いただいたことで、参加者にとって有意義な研修が行なえたのではないかと考えている。例年よりも多くのトレーニー、トレーナーに参加してもらい、久しぶりに飯嶋先生にご指導してもらった2日間は、トレーニーとともにトレーナーの変容も見られ、参加者全員にとって充実した2日間となったのではないだろうか。